

お知らせ

美研工房 1日目○木工 木製スプーンとスプーンケースをつくってエコライフ

美研工房では、日頃研究所でしている研究内容を学生に還元するために武庫川女子大学特別学期特別教育科目として講義をしました。本研究所の助手である前川多仁（染織）、泊里涼子（木工）、酒井稚恵（テキスタイル）が講師となり、「木製スプーンとスプーンケースをつくってエコライフ」題し、2018年2月19日（月）～21日（水）の3日間連続講義をしました。



©生活美学研究所

1日目の2月19日(月)は泊里涼子による木製スプーンを制作する実習をしました。



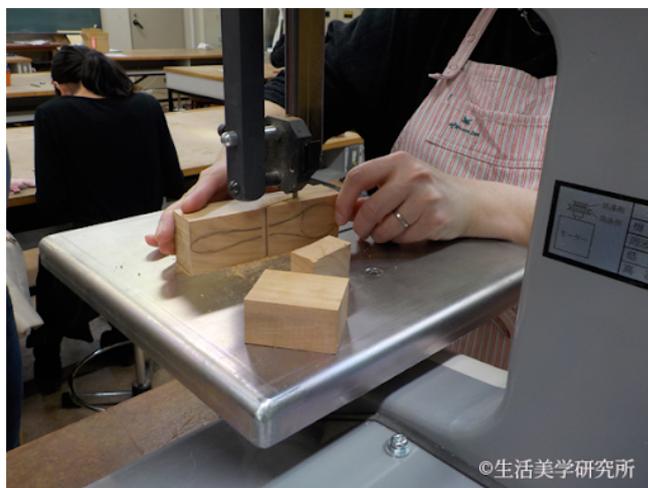
©生活美学研究所

木製スプーンを作るのに使う木材と道具たちです。固く削りにくい国産の「サクラ」(左)、さくさくと削りやすい国産の「クルミ」(中央)、日本では高級材として人気の高い「ウォールナット(外国のクルミ)」(右)の中から1つ選びます。



©生活美学研究所

選んだ木材に鉛筆で下書きをしています。立体をイメージしながら書いていきます。



©生活美学研究所

次に糸鋸で余分な部分を切ります。



©生活美学研究所

匙の部分を彫刻刀を使って掘ります。



©生活美学研究所

機械を使って表面の粗い部分を整えていきます。



©生活美学研究所

小刀ややすりを使って微調整をしていきます。
ウェス(布)に自然素材の油をつけ、スプーンを磨いていきます。
口に入れても大丈夫な油を使用します。
塗装後目の細かいやすりで削りウェスで再度磨くとよりツルツルになります。



©生活美学研究所

完成したスプーン(一部)です。
今年も素敵なスプーンたちが出来上がりました。